

# 八重山教育情報

第4号

発行； 沖縄県教職員組合  
八重山支部  
石垣市登野城72  
官公労共済会館2階  
TEL; (0980) 82-3264  
E-mail; otu-y@cosmos.ne.jp

## 支部定期大会無事終わる！

七月十一日(土)に石垣総合体育館研修室で行われた第四十回支部定期大会は、代議員二十三名の出席で予定通り開会されました。(委任状十三名) 来賓は、本部からは国吉司副委員長、大仲万睦、退職八重山支部長、渡辺賢一高教組八重山支部長、高嶺啓芳金八重山支店長が来てくださり、激励のあいさつを頂きました。

第一号議案から第五号議案まで、議長のスムーズな進行で行われ、全会一致で可決されました。西表や与那国からも代議員が駆けつけ、それぞれの島の現状を報告していただきました。

最後に、支部執行委員長から八重山支部の財政の現状報告があり、組合員を増やさなければ専従職員を置けなくなる懸念が示されました。組合員を三十名以上入れるよう全員で努力していくことを提案し締めくくりました。

組合活動を停滞させないためにも、一分会一名以上を目標に組合に加入させましょう。分会訪問も行いますので、希望する分会がありましたら、支部まで連絡を下さい。日程等の調整をしながら、行いたいと思います。今力を合わせて乗り切りましょう。

## 大会宣言

私たちは本日、ここに第40回沖教組八重山支部定期大会を開催し、2008年度の総括を行い、2009年度の運動方針を決定した。

近年、私たち教職員を取りまく状況はますます厳しさを増している。学校現場では学力向上を至上命題として、全国学テ最下位脱出をめざし教育活動のあらゆる面で数値目標を導入、「公約の公開とその実践」の名の下に目標達成のため、対処療法的な教育活動が生じていると言わざるを得ない。また「教職員評価システム」では数値目標を入れた本人の取り組み目標や内容を記入し、短時間の面接や授業参観による評価には疑問を感じざるを得ない。さらに初任研・10年研、校内研修や指定研修では、日常の教育活動に加え、夏季休業期間中には夏季休暇も年休も取れない状態である。このような状況は、学校現場の多忙化を生み、長時間労働と心身のストレスによる健康破壊と病気休職者の増加を招いている。

今年度から本格実施された「教員免許更新制度」は「離島での開講科目数が少ない」「興味のある講座、希望する講座がない」「本島までの交通費・宿泊費の出費が負担である」等離島の教職員にとっては大きな問題があり、早急に廃止を含めた改善への取り組みを強化する必要がある。

私たちは、職場と自身の業務内容を見直し、多忙化の解消とゆとりある職場、生徒と向き合える教育活動に向け、組合員を中心とした教職員の協力・協働の体制を確立していく必要がある。そのためにも一人ひとりのつながりと分会体制の強化が求められる。

また、八重山地方では米軍艦船や自衛隊艦船・ヘリの強行入港や一般市民の遊覧飛行、自衛隊音楽隊の演奏会等、軍事基地設置・軍隊導入へとつながる宣撫工作が強行されている。これまで基地も軍隊もない平和な八重山地方に軍靴の足音が忍び寄り、平和を希求する私たちの大きな脅威となっている。このような平和を脅かす動きに対し断固反対し、子どもたちに平和な未来を残す運動を強化しなければならない。

私たちは憲法9条を守り、武力・軍事力に頼らない平和な社会の建設。そして「教え子を再び戦場に送らない！」決意を再確認し、沖教組八重山支部の強化・発展をめざし、これからの大きな教育課題に立ち向かい、保護者・一般市民と連帯して教育活動を実践していくことを決意し、第40回支部定期大会において宣言する。

2009年 7月11日  
沖教組八重山支部 第40回定期大会

大会宣言の他に2本の決議も採択されました。  
「教職員の多忙化解消を求める決議」  
「八重山への自衛隊誘致及び配備に反対する決議」



ソウル  
魂において頑固  
マインド  
心において柔軟  
スピリット  
精神において活発